



神を仰ぎ 人に仕う

# Chapel News

2023年12月1日(金)

No.7

## 神の好意を得た人ーノアー

ノアという人がいました。この人は、洪水が起こって息あるものの命が奪われつつあった時、箱舟の中で生きながらえることをゆるされ、家族と共に救われました。神さまから「好意を得た」人でした(創世記 6:8)。

では、なぜノアは神さまから好意を得て、救われたのでしょうか。聖書には「その世代の中で、ノアは神に従う無垢な人であった。ノアは神と共に歩んだ」(創世記 6:9)と記されています。

それなら、ノアはいわゆる立派な人物だったのでしょうか。言葉においても行いにおいても、誰からも尊敬され、清く義しく素晴らしい人物とみなされていたのでしょうか。そうではないように思われます。むしろ、ノアは人々からは奇妙な変わり者のように思われていたことにちがひありません。なぜなら、ノアは「神のお告げを受けたとき…箱舟を造」るような人だったのですから(ヘブライ人 11:7)。ノアは神様を信じ、神様と共に歩む人、つまり信仰によって生きた人でした。

神様を信じて神様と共に歩む人は、この世の常識的な目からは変わり者と思われ、時には変な人とさえ思われることでありましょう。それは自然のままの世の人々は神様と共に歩もうとはせず、神様の存在を認めようとしないで、むしろ自分が神のようになることを望むからです。しかし、神様はノアのように信仰によって生きる人をお喜びになります。「信仰がなければ、神に喜ばれることはできません」(ヘブライ人 11:6)。

神様に従う無垢な人とは、ノアのように生きる人のことです。神様と共に歩む人はノアのように信仰によって歩みます。私たちも信仰によって神様と共に歩むとき、神様は私たちのことを喜んでくださることでしょう。ノアは「箱舟に入りなさい」と言われる神様の御声を聞いて(創世記 6:18,7:1)箱舟に入り、救われました。まことに神様の「好意を得た」人でした。

(政治経済学部特任チャプレン ナグネ 洛雲海)

## 2023年度 年間聖句

わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということ。 (ローマの信徒への手紙 第5章3～4節)

## 2023年度秋学期全学礼拝 9月26日(火)～1月31日(水)

全学礼拝は火曜日～金曜日です。秋学期の月に1度のチャペルでの対面礼拝週間は14時40分～15時10分で行われます。それ以外は、昨年度に引き続きキリスト教センターホームページでの文書礼拝配信となります。

## 聖学院教会祈禱会

毎週木曜日 18時40分～19時40分、緑聖ホールC室にて行っております。どなたでも自由にご参加ください。

## 主の祈り

天にましますわれらの父よ  
ねがわくはみ名をあげさせたまえ  
み国をきたらせたまえ  
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ  
我らの日用の糧を今日も与えたまえ  
我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく  
我らの罪をもゆるしたまえ  
我らをこころみにあわせず 悪より救い出<sup>いだ</sup>したまえ  
国とちからと栄えとは  
限りなくなんじのものなればなり アーメン



★ チャペルでの全学礼拝時には以下について  
ご協力をお願いいたします ★

- \* マスクの着用
- \* 席は詰めすぎずに着席
- \* 起立での讃美歌の歌唱、主の祈りの唱和



120th Anniversary of the  
Chapel's mission to Japan

12月5日(火)

奨励者 山口 博  
 (聖学院院長・キリスト教センター所長)  
 司会者 木村 太郎  
 奏楽者 渡辺 善忠

◆ ◆ ◆

前奏  
 讃美歌 95番 1、2、3節  
 聖書 ルカによる福音書  
 1章 46～56節 (新約P.101)  
 祈禱  
 奨励 「小さな自分、大きな神様」  
 祈禱  
 讃美歌 95番 4、5節  
 主の祈り  
 後奏

12月6日(水)

奨励者 柳田 洋夫  
 (人文学部チャプレン)  
 司会者 洛雲海(ナグネ)  
 奏楽者 相川 徳孝

◆ ◆ ◆

前奏  
 讃美歌 114番 1、2節  
 聖書 ルカによる福音書  
 2章 8～20節 (新約P103)  
 祈禱  
 奨励 「キリストに出会う場所」  
 祈禱  
 讃美歌 114番 3、4節  
 主の祈り  
 後奏

12月7日(木)

奨励者 木村 太郎  
 (心理福祉学部兼人間福祉学部チャプレン)  
 司会者 山口 博  
 奏楽者 ングワー路津子

◆ ◆ ◆

前奏  
 讃美歌 94番 1、2節  
 聖書 ルカによる福音書  
 1章 26～38節 (新約P.100)  
 祈禱  
 奨励 「恐れることなく」  
 祈禱  
 讃美歌 94番 3、4節  
 主の祈り  
 後奏

12月8日(金)

奨励者 赤田 直樹  
 (聖学院みどり幼稚園園長・チャプレン、聖学院教会牧師)  
 司会者 柳田 洋夫  
 奏楽者 山田 志帆

◆ ◆ ◆

前奏  
 讃美歌 259番 1、2節  
 聖書 ヨハネの手紙一  
 4章 9～10節 (新約.445)  
 祈禱  
 奨励 「ここに愛があります」  
 祈禱  
 讃美歌 259番 3、4節  
 主の祈り  
 後奏

今後の全学礼拝(文書)奨励者のご案内

文書礼拝配信は、キリスト教センターのホームページからアクセスできます。

聖学院キリスト教センター



- 12月 1日(金) 吉岡 光人先生 (日本キリスト教団吉祥寺教会牧師、本学講師)
- 12月 12日(火) 田中かおる先生 (日本キリスト教団安行教会牧師、本学講師)
- 12月 13日(水) 久保 哲哉先生 (聖学院中学校高等学校チャプレン)
- 12月 14日(木) 塚本 良樹先生 (キリスト者学生会(KGK)副総主事、本学講師)
- 12月 15日(金) 高橋 理恵職員 (教育支援課職員)
- 12月 19日(火) 鄭 鎬 碩先生 (政治経済学科教授)
- 12月 20日(水)【クリスマス礼拝(対面礼拝)】  
鈴木 光先生 (日本キリスト教団勝田教会牧師、本学講師)
- 12月 21日(木) 野村 春文先生 (子ども教育学科特任講師)
- 12月 22日(金) 円城寺真紀職員 (キリスト教センター職員)

◇クリスマス礼拝のご案内◇

12月20日(水) 10:40～12:10 <チャペル対面>

<メッセージ>

鈴木 光先生 (日本キリスト教団勝田教会主任牧師、本学講師)

「輝く街の灯りは届かない」

ルカによる福音書 2章 1～20節

<鈴木光先生のプロフィール>

1980年、横須賀生まれ、以後は東京育ち。  
 父が牧師のクリスチャン家庭に生まれ育つ。  
 親の苦勞を見て育ち、「牧師にだけはなると心に決めていたのだが…。大学時代にサークル活動(キリスト者学生会)の中で大きな回心の時が神様に与えられ、突然人生の方向性がすっかり変わってしまった。以来、イエス様の救いの福音を伝えることがライフワークと知り、導かれるままに牧師となる。  
 アメリカの神学校を卒業し、神様の導きで生まれて一度も来たことなかった土地に赴任。  
 2006年より勝田教会の伝道師、2009年11月より牧師。  
 2010年4月に二宮牧師からバトンを受け、現在は勝田教会の主任牧師として仕えています。



今回のChapel News発行日は、1月12日(金)です。